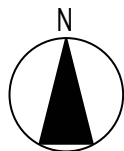


投資事業評価調書（新規）

部課室名	道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 高瀬 陽太郎 (交通施設係長 横山 一也)	内線	4389 (4399)
------	-------	---------------------	---------------------------------	----	----------------

事業種目	交通安全 施設整備	事業名	事業区間	総事業費	約 5.9 億円
		交通安全施設等整備事業 (主) 西脇八千代市川線	神崎 ^{いちかわ} 郡市川 ^{かみせ} 町上瀬加	内用地補償費	約 3.8 億円
所在地			着手予定年度	完成予定年度	
神崎郡市川町上瀬加			平成 25 年度	平成 29 年度	
事業目的			事業内容		
当該事業区間は小学校の通学路となっており、 もに、中学生が自転車通学で多数利用している。自動車交通量が多いにもかかわらず、歩道が整備されておらず、狭い路肩を通行せざるを得ないことから、非常に危険な状況になっている。このため、歩道を整備し、通学路の安全・安心を確保する。			歩道整備（片側） L=1,230m W=2.0m(2.5m) 現況 歩道なし 〔負担割合 国: 5.5/10 , 県: 4.5 /10〕		
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性 [周辺状況]		・ 当箇所は瀬加保育園、瀬加小学校の通園・通学路となっており、 瀬加中学校の生徒も自転車通学で利用しているが、歩道がなく、代替え路も無い ため、路肩を通行せざるを得ない、危険な状況となっている。			
[交通状況]		・ 自動車交通量が多い。（自動車 4,478 台/日、歩行者 53 人/12h、自転車 90 台/12h（H22 センサス））			
[交通事故]		・ 過去 5 年間の全事故数は 8 件。 （内、歩行者や自転車が関係する事故件数は 1 件）			
(2)有効性・効率性 [効果]		・ 通学等で利用している園児・小・中学生の安全が確保できる。			
[事業執行環境]		・ 交通安全総点検(H23.11.1 実施、地元自治体、住民、警察等 11 名)、の参加者が、 通学児童の路肩通行時の危険性を指摘し、歩道設置を求めている。 ・ 地元自治会より早期歩道整備の要望書が提出されている。			
(3)環境適合性		・ 歩道舗装を透水性舗装とすることにより、雨水の地下への還元を図る。			
(4)優先性		・ 地元からの強い要望があり、自治会による用地買収への協力体制が整っており、 早期完成が見込まれる。 ・ 当該区間を整備することにより、連続した通学路が確保される。			

事業概要図



歩道整備
(主)西脇八千代市川線
神崎郡市川町上瀬加
(交通安全施設等整備事業)

至 西脇

特別養護老人ホーム
ひまわり荘

瀬加保育所

(主)西脇八千代市川線
L=1230m W=2.0(2.5)m
歩道整備(片側)
事業費:590百万円

(主)西脇八千代市川線

瀬加中学校

瀬加小学校

福林寺

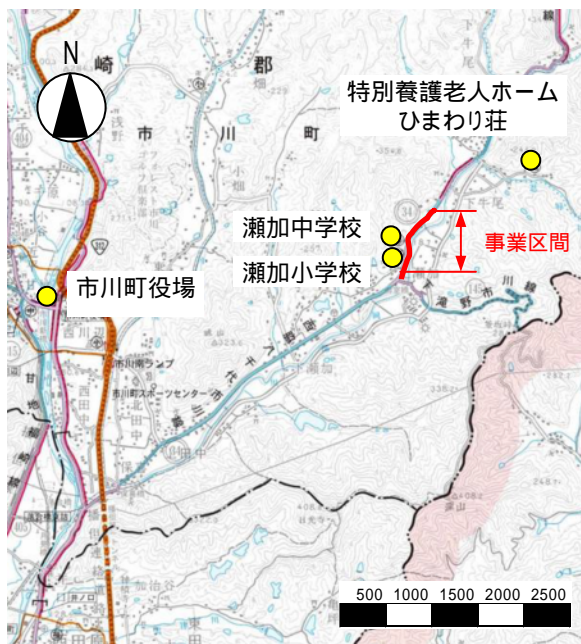
至 福崎

(一)下滝野市川線

50 100 150 200 250

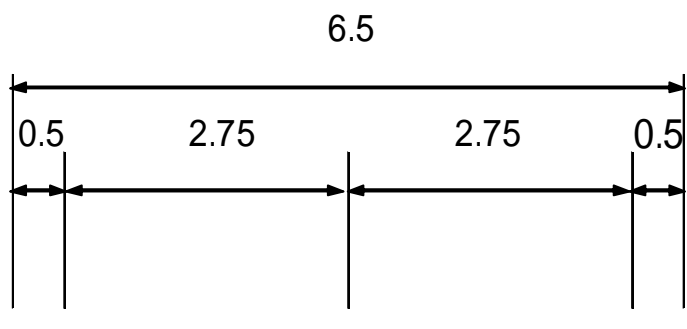
凡 例

県 道
既 設 歩 道
事業区間(H25~)
小中学校通学路

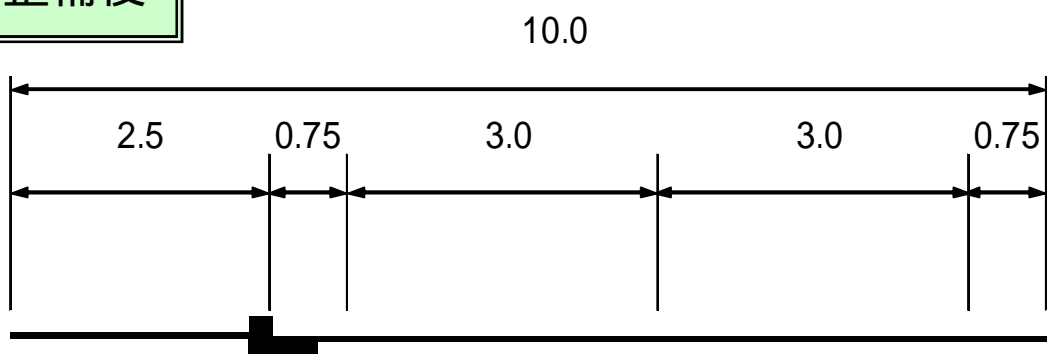


標準断面図

整備前



整備後



事業スケジュール

	工程				
	H25	H26	H27	H28	H29
調査設計	<div></div>				
用地補償		<div></div>			
工事			<div></div>		

状況写真

